

平成26年6月定例会一般質問表

6. 9、10、11

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	3 番 船 山 利 美 議 員	<p>1. 農地の集積・集約化を推進する「農地中間管理機構」の取組について</p> <p>(1) 我が国農業の構造改革として、農産物の生産効率を高め、輸入農産物に対する競争力強化、また、耕作放棄地の解消等を目的に、農地の集積・集約化を行う「農地中間管理機構」が創設され4月から業務が開始されている。各市町村においては組織の新設等で対応を図る自治体もあるが、まだ浸透していない状況で課題が山積していると思う。本市での取組等について質問する。</p> <p>① 本市として受け皿の体制等はどのようになっているか。</p> <p>② 本県は現在、農林水産省調べで51%集積されている。10年後に90%を目標にしているが、本市は県が目標にしている90%は可能だと考えているか。</p> <p>③ 農家は農地と隣接する市道等の草刈や生活排水を兼ねた用排水路の一斉清掃等で環境保全を担ってきた。過度の集約化で農家が減少し、受け手の負担が重くなり充分機能できない懸念がある。行政の維持管理で環境保全をサポートできると考えているか。</p> <p>④ 農地は受け手が見つからない場合、出し手に返還される制度で利便性の悪いところは、再び荒地として放棄されることになる。山間地等の耕作放棄地について対策等は考えているか。</p>	市長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
1	3 番 船 山 利 美 議 員	<p>2. 鳥獣害対策について</p> <p>(1) 2月に開催された「市民と議員との意見交換会」の“議員としゃべっぺ”でも深刻な鳥獣害の被害状況について意見があった。狩猟免許等の補助はあるが、一步進んだ対策も必要だと考える。また、被害が拡大すると耕作者の生産意欲が減退し、耕作放棄地が益々増える悪循環の懸念から次について見解を伺う。</p> <p>① 本市での農作物等への鳥獣被害の実態を把握されているか。</p> <p>② 新たな鳥獣被害防止特措法で、鳥獣被害対策実施隊を設置した市町村に必要な支援措置を実施するとある。本市も組織が設立されるが、どんな具体的活動なのか、また、市の支援等はあるのか。</p> <p>③ 人が頻繁に出入りする里山も被害抑制に繋がると思うが、里山再生に向けた森づくり等の事業は考えているか、また、企業の森等の事業継続や今後の新たな見通しなどはあるか。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
2	2 番 高 橋 一 郎 議 員	<p>1. 新文化会館の維持管理及び運営費用の財源について</p> <p>概ね1億円を要する上記費用の財源は、貸館売上収入のほか一般会計で捻出しなければならないと思われるが市長はどのように考えているのかお伺いいたします。</p> <p>2. 職員数の適正配置について</p> <p>経常経費分析表によると平成24年度の本市の人口1000人あたりの職員数は7.49人で類似団体平均の9.40人と対比して1.91人少ない。仮に人口3万人として単純に57人少ない職員で行政運営を行っていると思われるが、今後の職員数の適正配置について市長の考え方を伺いいたします。</p> <p>3. 駅伝と職員について</p> <p>市長は駅伝を走る広告塔として今後も強化していくことが南陽ブランドの推進につながると答弁している。今後とも駅伝ランナーを一般職として職員採用をしていく考えでしょうか。また、駅伝ランナーが走ることで業務の遂行を両立するためには、本人の頑張りも相当大きいと思われるし、配属課職員の協力なしでは円滑な行政運営はできない。駅伝ランナーの特性をいかすための人員配置や業務分担のあり方についてどのように考えているのか市長の考え方を伺いいたします。</p> <p>4. ふるさと納税について</p> <p>ふるさと納税者へのお礼の品をこのたび拡充したことは良いことだが、本市へおいでいただくためにも体験型のメニューを取り入れ独自色を出していくなど、ふるさと納税に対する積極的な取組についての市長の考え方を伺いいたします。</p>	<p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p> <p>市 長 関 係 課 長</p>

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
3	15番 佐藤明議員	<p>1. 「医療・介護総合法案」について</p> <p>(1) 安倍内閣は、衆議院厚生労働委員会で審議中の「医療・介護総合法案」を全野党が反対する中、14日強行採決しました。審議では、医療・介護のこれまでの仕組みを根本から突き崩し、国民の安心を奪う法案の重大な中身が、ますます明らかになっています。住民と身近に接して医療・介護を担う地方自治体からも異議申し立てが相次いで出ています。とても採決できる段階ではありません。国会での多数の力で押し通すことは許されるものではありません。「介護サービスが低下しかねない」「受け皿が不足している」等々5月に入り相次いで行われた地方公聴会や参考人質疑では、法案への現場の懸念や不安の声が続出しました。とくに批判が集中したのは、要支援1、2の訪問介護・通所介護を国基準の介護給付から切り離し、市町村事業に丸投げする介護保険法の改悪案と言わざるを得ません。甲府の地方公聴会で県医師会長が「拙速な推進は介護難民をつくりだす」「市町村間に差が出ることは大きな問題点だ」と述べたことなどは医療・介護を提供する側の強い懸念を示すものであります。参考人質疑では「認知症の人と家族の会」理事が「利用の入口をせばめられる」「重要な認知症の初期対応の支援が困難になる」と改定案の撤回を迫りました。厚労省自身がすすめている認知症対策にも完全に逆行する改定案の危険な姿を浮き彫りにしています。改定案に対する地方議会からの異議申し立て意見書は210にも達しております。ほとんどの意見書は、市町村によって介護サービスの質の大きな差がついて不均衡になり社会保障の公平性が維持できなくなることへの懸念を表明しています。一定所得以上の人の介護サービス利用料を2割負担にすることは、住民のサービス利用を抑制して症状の悪化につながる問題の懸念をあげ、その弊害を強く警告するものも少なくありません。特別養護老人ホームへの入所基準を原則「要介護3以上」に限定することについては「現場の実態とかけ離れている」と撤回を求める意見書が目立ちます。「介護の社会化に逆行し、制度の理念を否定するも同然」「理念を壊しかねない制度変更」という意見</p>	市長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
3	15番 佐藤明議員	<p>書の痛烈な批判は、介護保険制度の根幹を破壊し、国民の願う安心の介護とは無縁の改悪案の本質を突くものです。国民や地方の叫びを無視して強行すること自体、法案の道理のなさを示しております。介護保険関連だけでもこれだけの改悪が盛り込まれている医療・介護総合法案の重大性はそれにとどまりません。法案は入院患者の締め出しにつながる「病床再編」を推進する医療法改悪案など10数本の法改定案がひとまとめにされています。看護師の医療行為の拡大案や医療事故調査の仕組みにかかわる案など、本来ひとつひとつの徹底審議が必要な改定案ばかりであります。短時間審議で「一丁あがり」と押し通すことはできないはずのものです。国民の命と健康、高齢者と家族の安心の体制にかかわる重大法案を、スピード審議ですまそうとする安倍政権と与党のやり方はまさに暴走と言わざるを得ません。「医療・介護総合法案」について塩田市長のご見解を伺います。</p> <p>(2) 現在「要支援1、2」と認定され、介護サービスを受ける人の8割以上は、ヘルパーによる「訪問介護」、デイサービスなどの「通所介護」を利用しています。この2つの要支援者向けサービスを「廃止」と言われておりますがどのように対応されるのか。</p> <p>(3) 今後、特別養護老人ホームに入所できる人を原則「要介護3以上」に限定されると聞いておりますがどのように対応されるのか。また南陽市では待機者は何人おられるか。</p> <p>(4) 在宅でも施設でも利用料が負担増となり、さらに食費・居住費の軽減打切りとなり制度を後退させるのではという懸念の声も聞かれますがその対応は。</p> <p>(5) 患者追い出しをさらに加速させるのではという懸念の声が現場から上がっておりますがその対応は。</p> <p>(6) 今後の課題として現役世代が安心して介護保険が受けられる制度にするためにどのように対応されるのか。</p>	市長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	5 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>1. 止まらない人口減少をどのような施策で最小限に留めるかについて</p> <p>(1) 子育てしやすい環境づくりの必要性について</p> <p>① 大手企業などでは、会社内において独自の託児所を設けて乳幼児を抱える女性従業員への負担軽減や安心感を持てる作業環境の整備に努めているケースもあるが、地元の企業においても、今後、工業団地内のに行政と連携し、託児所の設置を検討し促進することは、子育てや新しい労働の確保の観点からも一石を投じることと考えますが、見解をお伺いします。</p> <p>② また、上記を推進するための保育士の確保や条件などあるかと思いますが、それを実行するための企業への一部助成を検討するなど提案致しますが、市長の見解を伺います。</p> <p>(2) 子育て世帯への負担軽減の必要性について</p> <p>① 少子化を抑えるための抜本的な対策を取ることが必要だと思います。そのためには、中学3年生までの医療費の無償化、また、小学生の給食費の無償化など、他自治体との違いを打ち出す、また、強調していかなければ、人口減少や流出などに歯止めがかからないと考えますが、見解を伺います。</p> <p>(3) 結婚推進室が進めてきた成果について</p> <p>① 市報等でお知らせ（PR）をされておりますが、どれだけの方が情報を確認されているか疑問に感じております。推進委員の方も結果を出せる様、頑張っておられると思いますが、現在までの成果はどの様になっているか伺います。</p> <p>② 若者を中心とした企画の作成や仕掛けづくりなど推進室、委員の方との意見の交流などされておられるか伺います。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
4	5 番 白 鳥 雅 巳 議 員	<p>2. 地域包括ケアの観点からの施策について</p> <p>(1) 独居高齢者の急増に対する施策について</p> <p>① 平成27年から第6次高齢者福祉・介護保険事業計画が作成されるが、独居高齢者の急増に対応するための地域包括ケアシステムの構築、計画などは、現在どの様に進んでいるか伺います。</p> <p>(2) 介護ヘルパーの高齢化に対する施策について</p> <p>① 団塊の世代が今後急増する中で、介護ヘルパーも高齢化が進んでいく。その様な見通しに対し行政としてどの様な検討をされ、対策はどうか伺います。</p> <p>(3) 障がい者の高齢化への対応について</p> <p>① 我が国全体の高齢化とともに、障がいを抱えている方についても高齢化は進んでいきます。その現状と課題、今後の取組について伺います。</p>	市 長 関係課長

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求める者
5	11 番 板 垣 致 江 子 議 員	<p>1. 教育について</p> <p>(1) いじめを受けた子どもが自殺した問題で、一部教育委員会の隠蔽体質や無責任体質が表面化されました。教育委員会制度の改革を盛り込んだ、地方教育行政法改正案が提出され政府は今国会の成立を目指しています。山形県でも「いじめの問題は心豊かで、安全安心な社会をいかにしてつくるかという、学校を含めた社会全体に関する県民的な課題である。」としてこの4月に山形県いじめ防止基本方針が出されました。南陽市では「人づくりはまちづくり」として様々な施策や地域総合型教育の実践により、多くの成果が得られて子ども達の元気な様子が見られます。また、平日開設から3年目になった南陽市教育相談室「クオーレ」は色々な問題をかかえた子どもや親にとり、かけがえのない場所になっています。更なる充実が求められています。</p> <p>次の事をお伺いします。</p> <p>① 市内小中学校でのアンケート等も含め、いじめやそれに近いものの報告はあるのか。</p> <p>② 小中学校の不登校の現状は。</p> <p>③ 何らかの原因で高校に行けなくなっている高校生の現状は、それらに対する相談等の状況は。</p> <p>④ ひきこもりの子どもを作らないためにも「クオーレ」の相談体制の強化が必要と思われるが指導員の増は考えているか。</p> <p>2. 市民の安全・安心について</p> <p>(1) 高齢化社会の対策</p> <p>高齢化社会が進む中、今大きな社会問題となっている認知症の患者が、全国で800万人といわれており、助けてと言えず孤立する認知高齢者が増えているという。昨年は認知症での行方不明届け出が1万300人に上ることが報告された。前年は9,607人で所在が確認された内、発見時に死亡していた人が359人という痛ましい状況であったという。</p> <p>厚生労働省も実態調査や対策に乗り出している県内</p>	市 長 教 育 長



受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
5	11 番  板 垣  致  江 子  議 員	<p>の認知症高齢者は2013年推計で5万7000人行方不明届け出も増えているという。 色々な施策をとっている市町村も増えているが南陽市の状況は。</p> <p>① 市内認知症高齢者の状況は。又、行方不明や事故等の状況は。</p> <p>② 介護疲れ等からの高齢者への虐待の状況は。</p> <p>③ 今後認知症高齢者問題は増えていく状況と考える。対策が急がれる。警察との連携等の市の対策は。</p> <p>(2) 一人ひとりの充実した、心豊かな生活のために、山形県でも男女共同参画社会が進められ、「男女が互いの人権を尊重する暴力のない社会の実現」を目標とする、山形県DV被害者支援基本計画が策定され取り組みが進められてきました。 インターネットや携帯電話の普及も相俟って、被害者の若年化が見られるなど、DV被害は多様化、複雑化してきています。 DVや離婚の増加を背景に、今、日本では「無戸籍」となる人が毎年500人以上いるという大変な事態がNHKの取材で明らかにされました。公的にはその存在が認められず、学校にも行けず、自分を証明するものが何もない子どもたち。支援団体も解決の糸口がみえず苦慮している状況だそうです。 大変難しい問題ですが、この事実をしっかり受けとめ、社会で考え、対策をとるべきと考えます。</p> <p>① 市内、県内のDVの状況は。</p> <p>② 市としての対策は。</p>	

受付順	質問者	質問項目 ・ 要 旨 ・ 内 容 1、2、3、・ (1)、(2)、(3)・・・ ①、②、③・・・	答 弁 を 求 め る 者
6	4 番 山 口 正 雄 議 員	<p>1. 株式会社ハイジアパーク南陽の経営について</p> <p>(1) 入館料・入浴料の300円に値下げした経営判断について 平成21年12月25日から1,200円の入館料・入浴料を300円に値下げ致しました。この検討においては「いくら料金にすれば業績が改善できるかを真剣に検討した」と事業報告書に記載されておりますが「業績が改善できる」とは、300円にすれば単年度黒字にできるという経営判断だったのかお伺い致します。</p> <p>(2) 安定的に単年度黒字経営していくための方策・方向性を明確に 中央花公園からハイジアパークに至るエリアは既に33万人以上が訪れるエリアになっている重要な施設であります。 しかしながら、経営状況がこのまま続けば借入金や市の持ち出しも増えていくのではと懸念致します。経営を存続していくためには黒字経営できるような損益構造に変えていく以外にはないのではないかと思います。 ハイジアパークが生き残るため、安定的に単年度黒字にするため、どう経営していくのか、その方向性を明確にすべき時期だと思っておりますがどのようにお考えなのかお伺い致します。</p> <p>(3) 機械設備等の更新等と費用の平準化について 開業満22年目を迎え、各機械設備は耐用年数も大幅に過ぎ、いつ故障が起きるか以前から懸念されているところであります。大きな故障が発生すれば休業せざるを得ない状況も想定されます。ここ数年500万円～600万円の施設修繕費として予算計上され、補修・修繕が行われているが、設備そのものの更新も考慮すべき時期ではないかと思います。 財政的に厳しい中、優先順位をつけて、計画的に平準化をはかりながら、対応していく必要があるのではと思っておりますが、どのようにお考えなのかお伺い致します。</p>	市 長 副 市 長 関 係 課 長

